

とうきょう すくわくプログラム 推進事業に関するとりくみの報告

NO.1

4月



虫探しが大好きな子ども達の姿からすくわくプログラムのテーマを“虫”にした4月。

昨年2歳児の子どもたちが、育てていたカブトムシの卵が幼虫になり、子どもたちの虫に対する興味・関心が高まってきました。

『どうしたら おおきくなるのだろう？』『なにを たべるの？』などさまざまな疑問が出るたび図鑑を広げたりおうちの人に教えてもらったりしながら探求し、友だちと話し合いながら育てているところです。

保育園の園庭には、どんな虫がいるのだろう？

探してみよう！！



プランターの下にいるかも！？



ばった
つかまえたよ！



『こうえんにも むしがいるかも！』という声から
虫採りあみ・虫かごを持参してみることにしました！



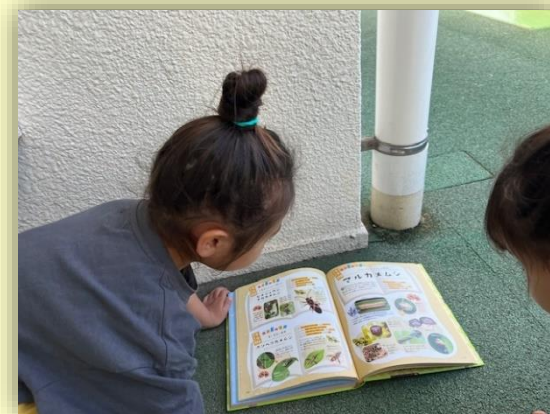
『むし みつけたよ～！！』の声にすぐに集まる子ども達♪



テラスで見たことのない虫を発見！！

『そうだ！ずかん』と図鑑を持ってきて

この虫かな？とお友だちと一緒に調べています。





『ここにも むし いるかもよ』と木の根の辺りを掘ってみる姿も…



今年度初“トカゲ”も発見しました。
みんなで観察をしたのち、お片付けの時間には逃がしてあげました。



5月

カマキリの飼育開始



連日虫とりを楽しんでいると、
“赤ちゃんカマキリ”を発見。
『かってみたい！！』という声からカマキリの飼育が始まりました。

6・7月



最近仲間入りした拡大鏡で
じっくり観察中



『カマキリもおさんぽするかな？』とテラスに
ゴザを敷いてお散歩する様子

『カマキリってなにをたべるの？』から始まったカマキリの飼育。

図鑑で調べてみると“小さな昆虫”との記載があり、毎日カマキリの餌として
バッタを捕まえるようになりました。『バッタかわいそう』という声もあがりま
した。そこで初めて食物連鎖について学んだ子ども達です。

始めのころは保育者が『カマキリにごはんあげなければ！』と声をかけていた
のですが、いつのまにか子ども達から『きょうまだごはんあげていないね』と
お世話をしてくれるようになりました。週明けには『おなかすいていないか
な』と心配する声もありました。



日々のお世話のおかげでカマキリの脱皮も
見ることができました！！



園庭での虫探しは続き、色や大きさの違うカマキリも
見つけることができました。



8月



8月のとある週明けに子どもたちがいつも通りカマキリの姿を見に行くと、動けなくなったカマキリの姿が…

大切に育てていたカマキリが死んでしまい、子どもたちもとても悲しそうでした。子ども達からお墓をつくってあげようという提案があり、お墓をつくり、たくさんあそんでくれてありがとうと伝えました。生命の儚さを体験した子ども達でした。

